

# 平成28年度 校内研究の概要

## 1 研究主題・副主題

**自ら学び，考え，行動できる児童の育成**  
**～「学びのプロセス」に沿った学習活動を通して～**

## 2 主題設定の理由

### (1) 研究の経過と今年度の方向性

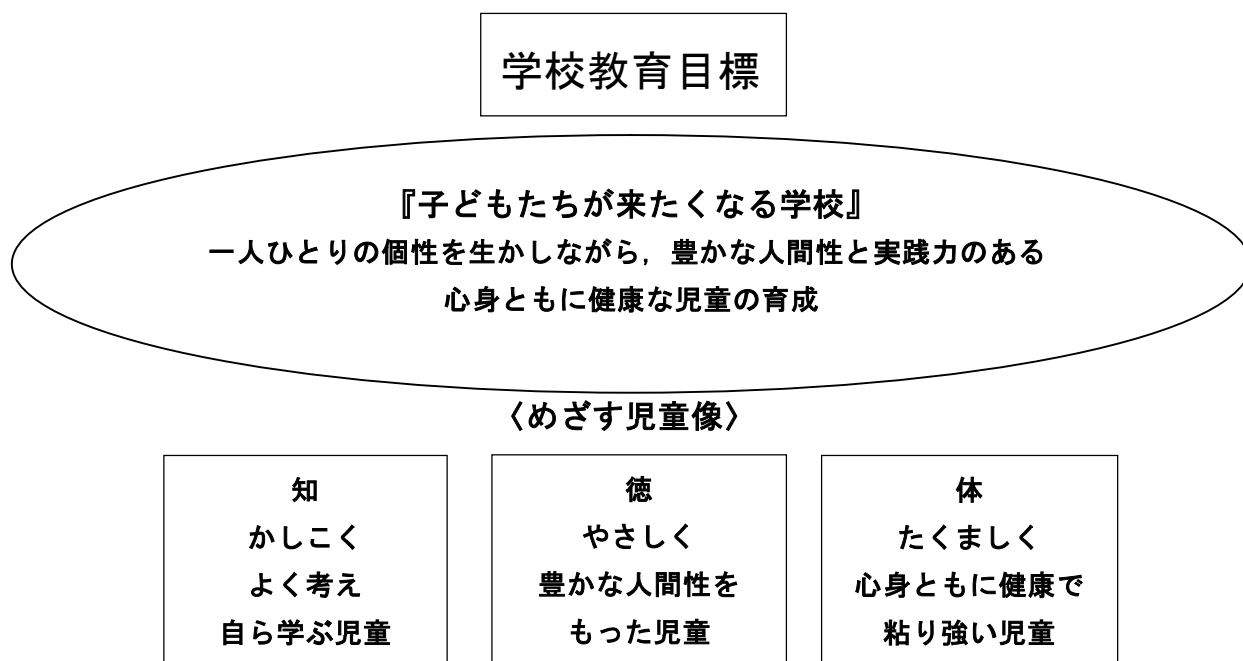
昨年度の研究では、授業と朝学習、家庭学習との関連を考えながら、「学びのプロセス」に沿った学習活動を通して、自ら学ぶ力の習得と、確かな学力の向上をねらいとし、その手立ての工夫について研究してきた。

授業や朝学習では、主体的に学ぼうとする児童の姿が多く見られるようになり、その意欲が家庭学習へとつながった。朝学習を、授業のレディネス確認、ドリルやプリントなどでの復習、予習や自主学習、発展学習など、授業との関わりの中で柔軟かつ有効に扱うことで、授業や家庭学習と関連させながら取り組む方法を、創出することができた。

日々の実践を通して、つながりのある学習活動を行うことで、教師も児童も学習への見通しをもつことができ、充実した授業が展開された。提案授業では、課題に向かって意欲的に取り組む児童の姿が印象的だった。一方、「学びのプロセス」において「考えをもつ」ことはできても、「伝え合う」過程において、意見の発表に留まり、意見を交換し合うなど、互いに「学び合う」過程に課題が残った。

そこで今年度は、「学びのプロセス」における、「伝え合い学び合う」過程の充実を図るための指導法について研究を進め、実践に活かしていきたいと考える。「授業」が学力向上の要となるように、朝学習、家庭学習とのつながりを考えながら実践することも、継続させていきたい。これらの研究は、次期学習指導要領で重視されている、これまでの知識を活用し他者と学び合う、「アクティブ・ラーニング」へとつながるものと考えている。

## (2) 学校教育目標の具現化から



本校では、「子どもたちが来たくなる学校」を目標に、一人ひとりの個性を生かしながら豊かな人間性と実践力のある心身共に健康な児童の育成を図った教育活動を行っている。また、「生きる力」を育み、かしこく（知）やさしく（徳）たくましく（体）児童が育つように全人的な教育をめざしている。

「心身ともに健康な児童」（健やかな体）は、「かしこくよく考え、自ら学ぶ児童」（確かな学力）である。「学校に来て学びたい」と、児童が自ら行動できるよう、研究主題に向かって、研究・実践していくことが、学校教育目標の具現化につながると考えている。

## (3) 児童の実態から

全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果から、朝食の摂取、就寝時間など基本的な生活習慣は、9割以上が良好であり、これまでの本校における健康増進に関わる指導の成果が表れている。また、「ものごとを最後までやり遂げてうれしい」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「自分によいところがある」などの質問には、大半の児童が肯定的に回答している。本校で2月に実施された学校アンケートの結果でも、「学校が楽しい」「授業が分かりやすい」と回答している児童が多い。本校の児童は、やる気があって、学ぶ意欲や自己肯定感が高いと考えられる。

授業において、「課題把握」はよくできていたが、「振り返り」の活動の充実に、全国・県との差があった。学習の調査の結果から、全体的に知識はあっても、関連づけて考えたり、別の方法を探ったりするなどの活用力に課題がある。よって、「学びのプロセス」に沿った学習活動のより一層の充実に図り、自分の考えを他者と比較したり修正したりする「伝え合い学び合う」過程に重点を置く必要がある。

### 3 研究主題・副題のとらえ方

#### (1) 主題『自ら学び、考え、行動できる子ども』について

課題意識を高くもち、課題を解決するための方法を考えたり、考えを表現したりすることができる子どもである。また、学習の振り返りや、次時につながる学習を行うことによって、新たな課題を見つけ、意欲的に学ぼうとする子どもの姿である。

#### (2) 副題『「学びのプロセス」に沿った学習活動を通して』について

主体的に学び、「確かな学力」を育むために、重視することとして、小学校学習指導要領総則第1章第4の2(4)には、「各教科等の指導に当たっては、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫すること」とある。「課題をつかむ」から「振り返る」までの「学びのプロセス」に沿った学習活動のより一層の充実を図ることで、主題に迫ることができると考えている。

### 4 研究目標

「伝え合い学び合う」過程の充実を図るために、その指導法について学び、実践に活かす
--

### 5 研究内容

- (1) 「学びのプロセス」に沿った学習活動を充実させるための教師の支援について
- (2) 「伝え合い学び合う」過程の指導方法について

### 6 研究方法

- 低学年ブロック、高学年ブロックに分かれて研究する。
- 研究経過を交流し合い、修正していく。

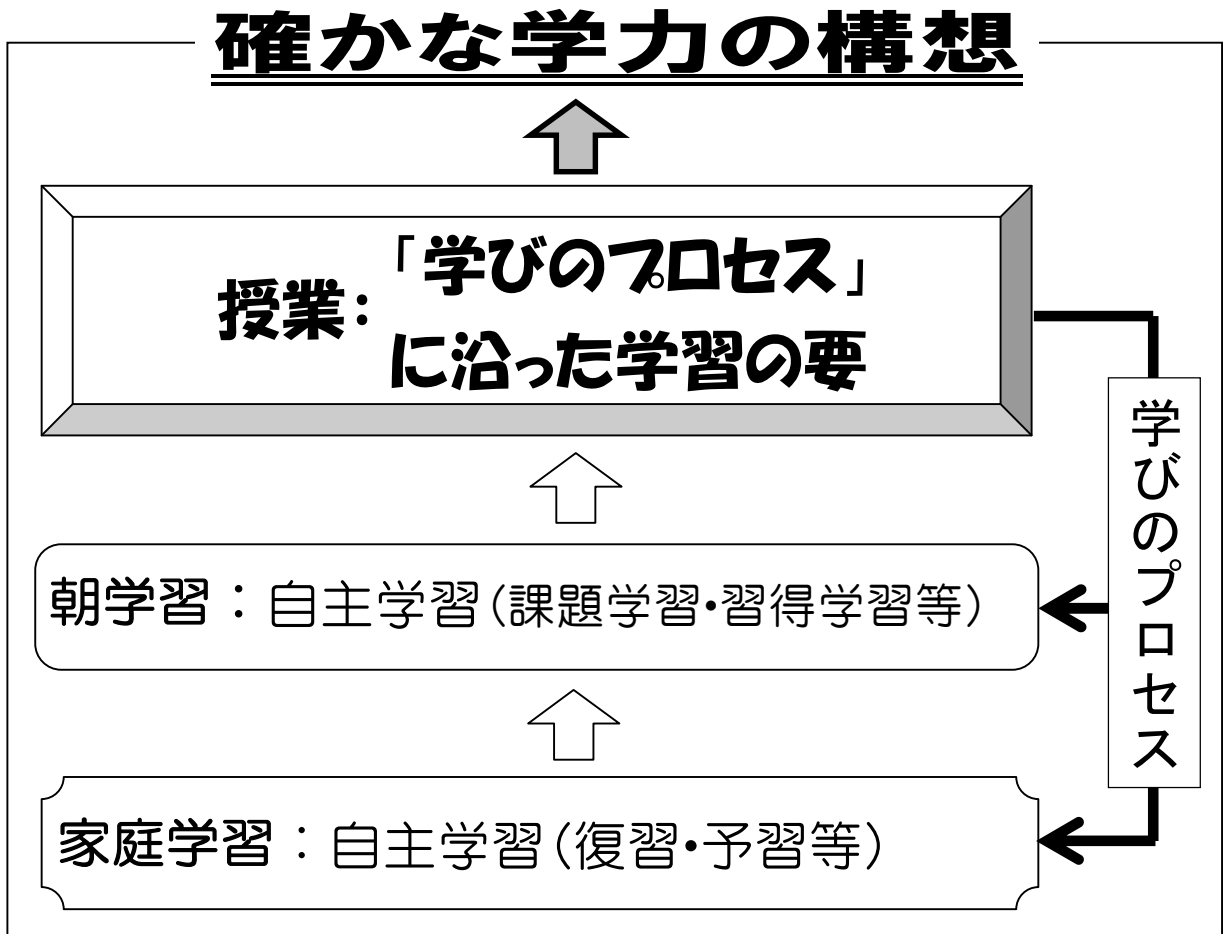
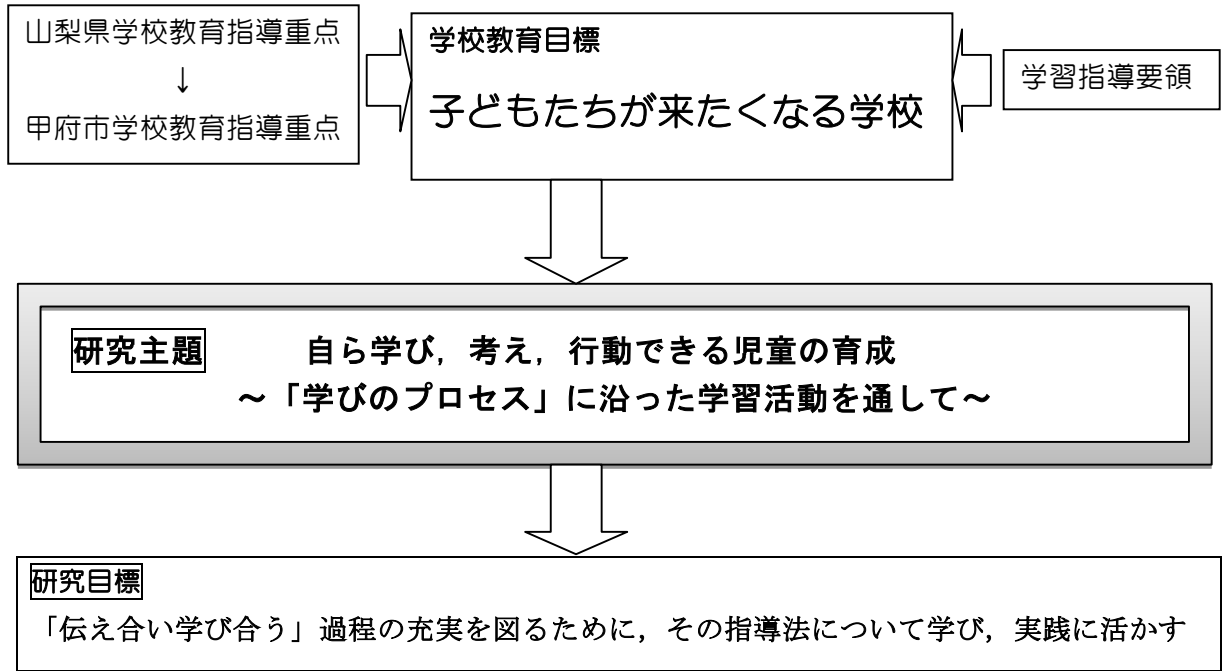
#### 研究内容(1)について

- ①学習の要となる授業において、朝学習、家庭学習(「家庭学習の手引き平成28年度版」)を有効活用させながら、学力を定着させるために、日々の授業改善を行う。(一人一実践)
- ②授業を参観したり相談し合ったりして、互いに学び合う。(相互参観)

#### 研究内容(2)について

- ①講師を招聘して、様々な指導方法を学ぶ。(学習会・研究協議会)
- ②各ブロックにおいて、学年のつながりを考慮しながら指導法について研究し、実践する。  
(提案授業)

7 研究構想図



# 学びのプロセス

作業的・体験的活動

・課題解決のための様々な活動

・目標に向かって行動すること

課題をつかむ

児童の活動

- ・課題把握
- ・目標設定
- ・計画・予想

教師の支援

- ・提示の工夫
- ・実態把握
- ・場と時間確保

考えをもつ

- ・考えをもつ
- ・表現の仕方を工夫する

- ・ノートやワークシートの工夫

伝え合い学び合う

- ・交流する
- ・認め合う
- ・補い合う

- ・場の設定
- ・場の工夫
- ・学級づくり

課題解決する

- ・考えを表す
- ・比較検討する
- ・まとめる

- ・個に応じた支援・指導
- ・賞賛する

振り返る

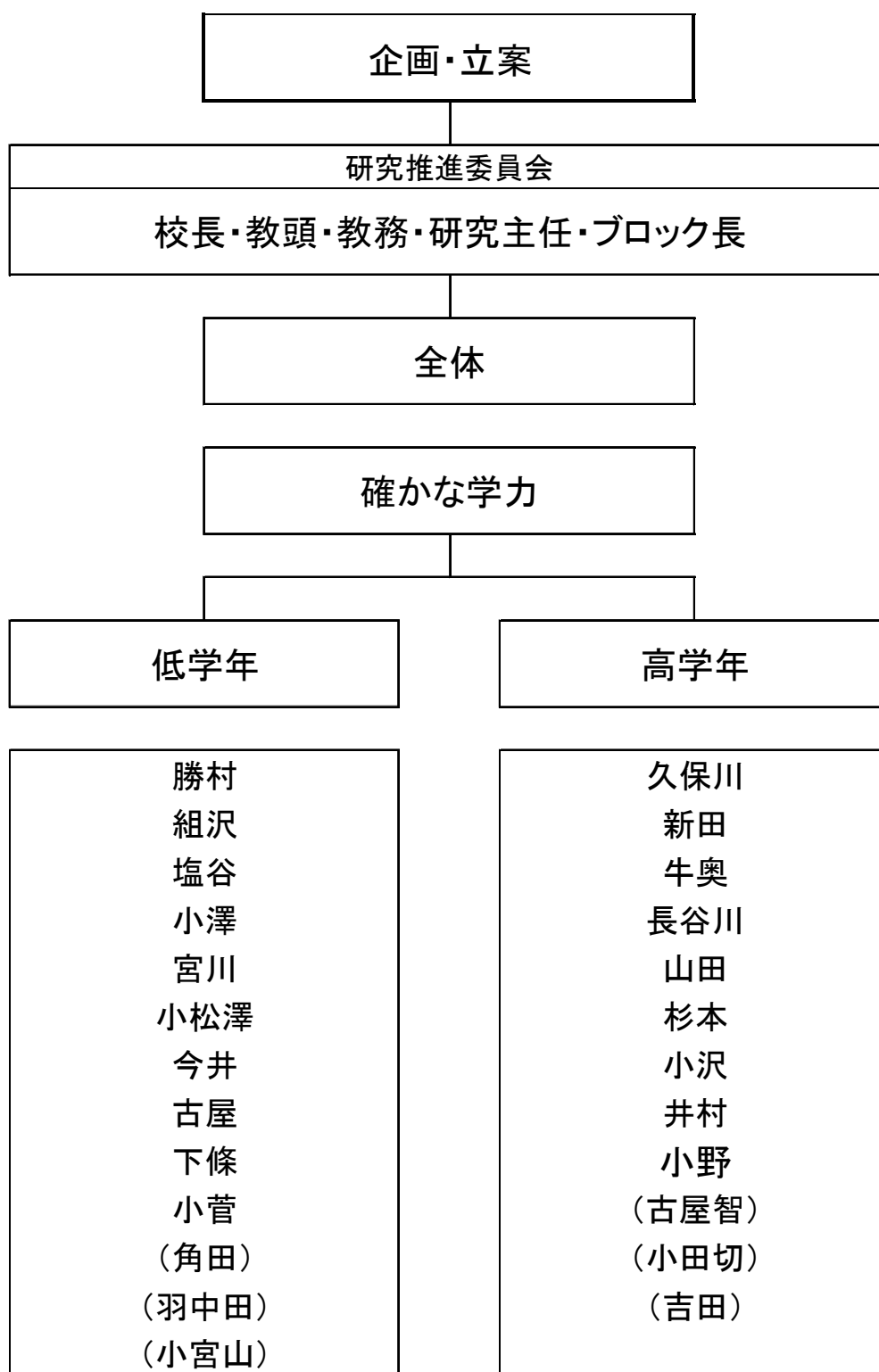
- ・学習感想を書く
- ・成果と課題から次への意欲へ
- ・学習や活動の意義を知る

- ・学習感想を書かせ振り返りを行う
- ・評価する

学習の楽しさ・活動の意義・新たなる課題

次への意欲

自ら学び, 考え, 行動できる児童



## 9 研究計画

月	日	曜	会	内容
4	5	火	第1回研究推進委員会	・今年度の研究の方向性について
	18	月	第1回全体研究会	・研究の概要について
5	16	月	第2回全体研究会	・研究の進め方とまとめ方
			①ブロック研究会	・ブロック長，提案授業者（学年）決定
6	7	火	第3回全体研究会	・講師を招聘して学習会
	20	月	第4回全体研究会 ②ブロック研究会	・学習会を受けて ・提案授業について ・一人一実践について
7	21	木	第5回全体研究会	・一人一実践1学期のまとめ
			③ブロック研究会	・提案授業について・1学期の研究のまとめ
8	24	水		・提案授業案検討
				・提案授業案検討
9	5	月	第6回全体研究会	・各研修会，甲教協等還流報告
			④ブロック研究会	・一校一実践，一人一実践（提出用）について ・指導案検討
			第7回全体研究会 ⑤ブロック研究会	・「全国学力学習状況調査の結果分析及び今後の授業改善について」 ・提案授業案検討
10				・提案授業案検討
			第8回全体研究会	・提案授業のもち方，協議会の流れについて
				・提案授業案検討
	26	水	第9回全体研究会	・提案授業①
				第10回全体研究会
11				
	16	水	第11回全体研究会	・提案授業②
12	12	月	第12回全体研究会	・研究紀要について・まとめアンケートについて ・2学期の研究のまとめ
1	23	月	第13回全体研究会	・研究紀要について
2	10	金	第14回全体研究会	・研究のまとめと来年度の方向性について